

『ひとりでカラカサさしてゆく』 江國 香織／著 新潮社 (分類:Fエ)

大晦日の夜、ホテルに集まった80歳過ぎの3人の男女。酒を飲み、共に過ごした過去を懐かしみ、そして一緒に命を絶った。残された者たちの日常を通して浮かびあがるのは…。『小説新潮』連載を書籍化。



『愚かな薔薇』 恩田 陸／著 徳間書店 (分類:Fオ)

夏が近づく季節、母方の故郷・磐座で行われる長期キャンプに参加することになった奈智。それは、「虚ろ舟乗り」の適性を見極めるためのもので…。美しくもおぞましい吸血鬼SF。『SF Japan』『読楽』掲載を単行本化。



『おわかれはモーツァルト』 中山 七里／著 宝島社 (分類:Fナ)

盲目の人気ピアニスト・榊場隆平に因縁をつけたフリーライターが銃殺される。容疑者にされ窮地に立った榊場を、彼と同様ショパンコンクールのファイナリストに名を連ねた岬洋介は救えるのか?



『血の歌』 なかにし 礼／著 毎日新聞出版 (分類:Fナ)

戦争の高揚と絶望。そして戦後の果てない墮落。兄の人生を見つめたその娘は、「謎の歌手」に生まれ変わった。著者の死後に発見された、代表作「兄弟」の習作と思われる作品。



『きりきり舞いのさようなら』 諸田 玲子／著 光文社 (分類:Fモ)

お江戸の大火で命からがら焼き出され、無一文のすっからかん。人気戯作者十返舎一九一家。尽きない騒動に娘の舞の苦難は今日も続く…。『小説宝石』掲載を書籍化。



『ミトンとふびん』

吉本 ばなな／著 新潮社 (分類:Fヨ)

たいせつなひとの死、癒えることのない喪失を抱えて生きていく。今日もまわりつづける地球上でめぐりゆく出会いと、ちいさな光に照らされた人生のよろこびを描いた短篇集。『新潮』等掲載を単行本化。



『約束』

葉室 麟／著 文藝春秋 (分類:BFハ)

浩太、舜、冬美、美樹の高校生4人は、交差点で雷に打たれ、目覚めると、明治維新直後の時代に転生していた。西郷、大久保ら、近代史の立役者たちの側で、激しい時代のうねりに巻き込まれ…。没後に発見された幻のデビュー作。



『吉祥寺ドリーミン』

山田 詠美／著 小学館 (分類:914ヤ)

言葉尻番長を自認する著者が、コロナ下に浮き彫りになった事柄や、跋扈した言葉に難癖をつけ、不要不急の愉しみを綴ったエッセイ全100編を収録。『女性セブン』掲載を書籍化。



『未知の星を求めて 新版』

関 勉／著 高知新聞社 (分類:K447セ)

広大な宇宙の果てに未知の天体を求め、「関彗星」の誕生を夢見て、私の観測生活が始まった。彗星、小惑星の搜索と発見に情熱を傾けた高知のアマチュア天文家、関勉と星仲間たちの青春群像の物語。



『絵の中のモノ語り』

中野 京子／著 KADOKAWA (分類:723ナ)

「ナイトホークス」×煙草、「バックラス」×ワイン、「メディア」×蛇の腕輪…。西洋名画の中に描かれたモノをもとに歴史の謎や社会背景、画家たちの思惑を読み解く。『エクラ』連載を加筆修正。

